

自社ブドウ園・契約ブドウ園などをお持ちのワイナリーの方へ

「日本ワインのテロワールの解明」の研究にご協力いただけるワイナリーを募集します。

研究目的：日本ワインの産地による特徴を明らかにするとともに、ワイン用ブドウの栽培や日本ワインの品質向上に役立つよう生育予測・成分予測方法の開発に役立てます。

協力をお願いしたい事項：

1. ブドウの生育記録 萌芽日、開花はじめ日、ベレゾン日、収穫日などの提供
2. ブドウ果汁の分析 収穫期の Brix、総酸（滴定酸度）、pH 等の提供

対象品種：甲州、マスカット・ベリーA、デラウェア、シャルドネ、メルロ、ピノ・ノワール等。日本ではまだマイナーな品種（レгент、アルバニーニョなど）も含まれます。

対象地域：日本全国

対象期間：令和2年の生育シーズン

応募期間：令和2年4月24日まで。ただし、応募者多数の場合はこれより前に締め切らせていただく場合があります。

その他：

- ・ワイン用ブドウ栽培支援情報システム（以下「情報システム」という）*に登録をしていただき、上記1、2のデータを情報システムに入力していただきます。
- ・情報システムでは、農研機構のメッシュ農業気象データを利用した登録地点の気象データ（気温、降水量、日照量など）を閲覧できます。また、一部の品種では生育予測機能**をご利用いただけます。
- ・情報システムの利用は有料ですが、データを全項目入力していただいた場合については、利用料は当研究所で負担させていただきます。
- ・一部の品種については、別途研究機関での分析や試験醸造用にブドウの購入を相談させていただきます。

詳しくは info@nrib.go.jp へ、件名に「日本ワインの研究」と明記してメールでご連絡・お問い合わせください。

（参考）

- * 情報システムは、農研機構・生研支援センターの「革新的技術開発研究展開事業（うち地域戦略プロジェクト）」（平成28～30年度）の支援を受け、日本ワインの競争力強化コンソーシアムが開発をしたものです。概要は <https://www.agw.jp/wine/> をご参照ください。
- ** 生育予測では、例えば萌芽日を入力すると、その後の気象データ及び気象予測データから開花日を予測します。協力をご検討いただく場合、萌芽日を記録しておいていただくよう、お願いいたします。生育記録の基準についてはお問い合わせください。なお、生育予測は研究途上にあり、皆様にデータをご提供いただくことで今後の精度向上が期待されます。